

自己評価結果

本環境報告書の発行にあたり、記載内容の信頼性を高めるために、作成部署から独立した立場にある監事による評価を実施いたしました。監事より示された意見は、以下のとおりです。

独立行政法人環境再生保全機構「環境報告書 2006」に対する意見書

平成 18 年 9 月 26 日

独立行政法人環境再生保全機構

理事長 田中 健次 殿

独立行政法人環境再生保全機構

監事 伊藤 一秀

監事 浅野 一磨

独立行政法人環境再生保全機構作成の「環境報告書 2006」に対して評価を行った結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 評価の目的

「環境報告書 2006」の信頼性を高めるため、網羅性、正確性、実質性及び中立性の観点から自己評価を実施しました。

2. 実施した手続の内容

環境省「環境報告書の信頼性を高めるための自己評価の手引き[試行版]」を参考として実施しました。

3. 評価対象項目

報告書をお読みいただく皆様へ

組織体制・業務概要

業務における環境配慮

経営理念・経営方針・職員行動指針

環境保全への取組

皆様とのコミュニケーション

4. 評価結果

評価対象項目について自己評価手続を実施した結果、問題は認められませんでした。なお、当機構の業務は法令に基づいて実施されているため、業務の説明等において固い表現や分かりづらい文章となっている箇所もありますが、できるだけ分かり易い表現となるよう改善を期待します。また、「環境保全への取組」では、さらに数値化や図式の工夫、比較可能にすることで関係者の一層の理解を得ることができると考えますが、当機構が環境負荷低減等の活動を直接的に行う立場にないため、記述内容に定量性を欠く面が見られるのはある程度やむを得ないことと考えます。